

院内がん登録からみた大阪府におけるAYA世代のがん

P2-2

大阪国際がんセンター がん対策センター 政策情報部

原 加奈子、中田 佳世、石田 理恵、久馬 麻希、花原 聡、井上 容子、浅尾 朋子、森島 敏隆、秦原 佳宏、宮代 勲

背景・目的

【AYA世代* のがんについて】 *Adolescent & Young Adult (若年若年若年若年)
 > 日本では、年間およそ2万人のAYA世代 (15-39歳) がんと診断され、国内のがん患者の約2%を占める^{※1}。
 > AYA世代のがんの特徴として、発症する年代によって罹患するがん種が大きく異なり、罹患率も年齢の上昇に応じて高くなる^{※2}。
 > **がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針** における都道府県協会の役割として、AYA世代のがんの支援体制の整備および、都道府県内の院内がん登録データの活用が図られている^{※3}。



→ **大阪府におけるAYA世代のがんの実態を明らかにする。**

※1-2: 国内がん対策センター がん啓発ホームページ <http://www.gan-prevention.or.jp/aya/about.html>
 ※3: がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針(厚生労働省健康局長通知(健発0981)第16項)

方法

【分析に使用したデータ】
 ・ **CanReCoデータ (2019-2021年症例)**
 大阪府がん診療連携協議会ががん登録・情報提供委員会主体とする調査[※]のため、市内のがん診療拠点病院 68施設より収集した院内がん登録データ
 * 「新型コロナウイルス感染症がリアルワールドのがん医療に及ぼした影響：がん登録を基盤とした調査」
 [A cancer registry-based study on the impact of COVID-19 on cancer care in Osaka (CanReCo)]

【対象の抽出と分類】
 ・ 診断時年齢：15-39歳
 ・ 分類コード：AYA Site Recode 2020 Revision
 ・ 院内がん登録標準登録形式で定義された症例区分を用い、集計の目的に応じて対象を抽出
 ・ 大阪府のがん診療拠点病院の履歴を2020-21年時点の拠点病院の指定状況に基づいて、「国指定」と「大阪府指定」の2つに区分

大阪府のがん診療拠点病院の種類 (※注：2021年までの府指定拠点病院および、2022年からの府指定拠点病院を含む)
 ★ 都道府県がん診療連携拠点病院：1施設
 ● (国指定) 小児がん拠点病院かつ(国指定) 地域がん診療連携拠点病院：1施設
 ● (国指定) 地域がん診療連携拠点病院
 【(大阪府指定) 大阪府小児がん拠点病院を含む】：16施設
 □ (大阪府指定) 大阪府がん診療拠点病院
 【(大阪府指定) 大阪府小児がん拠点病院を含む】：50施設+4
 → **大阪府のAYA世代のがんの登録件数、性別・年齢別・がん種別の分布、施設別・拠点病院種別の年間平均治療症例数を算出した。**

結果

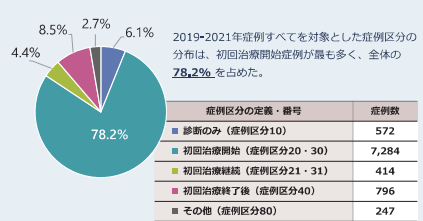
2019-2021年症例 [症例区分すべて]

がん診療拠点病院68施設におけるAYA世代のがん [2019-2021年]

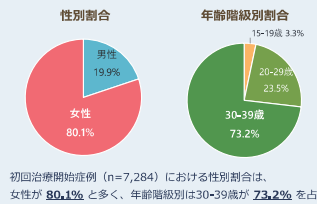
	2019年診断	2020年診断	2021年診断	計
症例区分すべて	3,096	3,064	3,153	9,313
症例区分80を除く症例	3,017	2,985	3,064	9,066

大阪府のがん診療拠点病院68施設で2019-2021年症例として登録されたAYA世代のがんは **9,066件** (症例区分80を除く)。
 登録数の推移は、**2019年症例 3,017件、2020年症例 2,985件、2021年症例 3,064件** と、大きな変化は見られなかった。

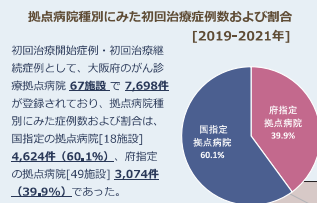
症例区分の分布 [2019-2021年]



初回治療開始 [症例区分20・30] n=7,284



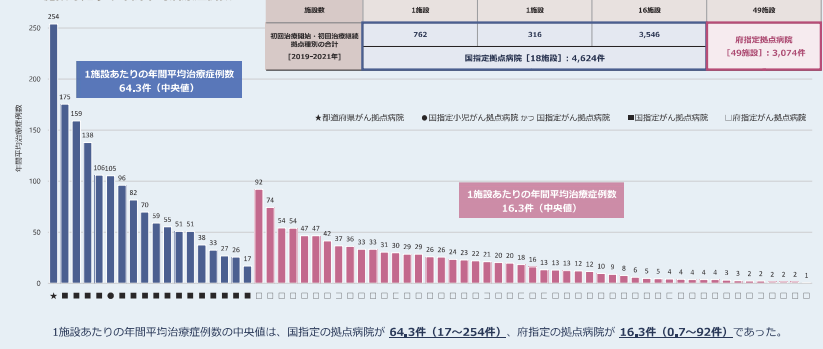
初回治療開始・初回治療継続 [症例区分20・30, 21・31] n=7,698



がん種別分布 [AYA Site Recode 2020 Revision]



1施設あたりの年間平均治療症例数



結論

大阪府におけるAYA世代のがんは、症例数は少ないものの発症年齢や性別によって好発するがん種が異なった。さらに、患者は多くの医療機関に分散していることから、情報の均てん化やエビデンス構築のしつらさが懸念された。拠点病院間の医療連携の促進のためには、年齢やがん種別の検討も必要である。患者とその家族の意思決定支援に繋がる情報提供が漏れなく実施されるよう、都道府県協会の立場から働きかけていく必要がある。

